



日時	2023年12月20日 17:00				試合形式	90分	
会場	Estadio Municipal Balcarce				ピッチ状態	天然芝	
日本代表			0	0 前半 1 0 後半 3	4	アルゼンチン代表	
警告・退場	後半	前半	チーム合計		前半	後半	警告・退場
	4	1	5	シュート	15	5 10	
	5	3	8	GK	7	4 3	
	1	3	4	CK	7	3 4	
	2	3	5	直接FK	6	3 3	
	3	1	4	間接FK	0	0 0	
	3	1	4	(オフサイド)	0	0 0	
	0	0	0	PK	0	0 0	

【日本】

【アルゼンチン】



【得点経過】

- 41分[アルゼンチン]No.5のクロスボールをGKがキャッチミス。落としたボールをNo.9が1タッチで流し込みゴール。
- 53分[アルゼンチン]No.11がDF背後にグラウンダーでスルーパス。走り込んだNo.7がGKとの1vs1を決める。
- 69分[アルゼンチン]DFのクリアミスにNo.11が抜け出し、ドリブルでペナルティエリアに侵入。ヒールパスからNo.4が1タッチシュート。
- 88分[アルゼンチン]No.20の右サイドクロスボールが直接ゴールに入る。

【交代】

4 6分[日本]	IN NO. 15 犬塚	⇔	OUT NO. 11 梅村
5 2分[アルゼンチン]	IN NO. 17	⇔	OUT NO. 10
6 0分[日本]	IN NO. 10 佐藤	⇔	OUT NO. 9 奥田
6 6分[日本]	IN NO. 17 今井	⇔	OUT NO. 18 松野
6 9分[アルゼンチン]	IN NO. 15	⇔	OUT NO. 11
	IN NO. 16	⇔	OUT NO. 8
7 7分[アルゼンチン]	IN NO. 14	⇔	OUT NO. 4
7 8分[アルゼンチン]	IN NO. 12	⇔	OUT NO. 1
8 6分[日本]	IN NO. 6 吉川	⇔	OUT NO. 3 清水
8 7分[日本]	IN NO. 2 大野	⇔	OUT NO. 13 福原
8 7分[アルゼンチン]	IN NO. 19	⇔	OUT NO. 5
	IN NO. 20	⇔	OUT NO. 7

ゲームコンセプト

全員攻撃・全員守備

攻撃コンセプト

ARGENTINA の状況に応じて、

- ・相手の背後を狙う+サイドからの攻撃DF
→サイド攻撃(数的優位) ※ニア・プルバック・ファー
- ・ビルドアップ
→1タッチプレー+サポート+素早い切り替え

守備コンセプト

- ・1 vs 1 で絶対に負けない
(良いポジション/素早いアプローチ/インターセプト/粘り強い対応)
- ・前線から、中盤からの積極的な守備
(1stDFのアプローチ/予測/距離感/背後への飛び出しの予測・対応)
- ・ゴール前の守備
(寄せる/正面に立つ/距離感/簡単に飛び込まない)

ゲーム内容

日本は、良い守備から意図的にボールを奪い、サイドを起点とした攻撃でゴールを目指した。アルゼンチンは、3バック+GKでボール保持し、サイドの揺さぶりから2トップをターゲットに縦パスを狙っていた。特に2トップのNo.7とNo.9は、ボールを収め起点を作ることができ、日本のゴールを幾度か脅かした。前半2分、8分と、サイドからのクロスボールをアルゼンチンNo.9がヘディングで合わすも①徳村が決定機を防いだ。少しずつ日本もボールを保持し、サイドから前進を図るも、過度にプレッシャーを感じ、有効的にアタッキングサードまでボールを運ぶことができなかった。それでも粘り強い守備からアルゼンチンの攻撃食い止めることはできて

いた。しかし、41分に相手のクロスボールを①徳村がキャッチミスをし、No.9に決められ、0-1で前半を折り返すこととなった。後半開始は、相手陣地に押し込む場面が増え、流れも日本ペースになりつつある中、一瞬の隙を突かれ、ゴールを許してしまう。63分、68分と良い守備から攻撃へと繋げ、ゴールの兆しが見えてきた矢先に、またもやロングボールの対応ミスから失点を重ねてしまう。一矢報いるためゴールを目指し、78分には、右サイドのコンビネーションからゴール前⑩佐藤にボールが渡り、シュートを放つもサイドに外れてしまう。後半の終了間際にNo.20のクロスボールが直接ゴールに決まり、第1戦は0-4の敗戦となった。